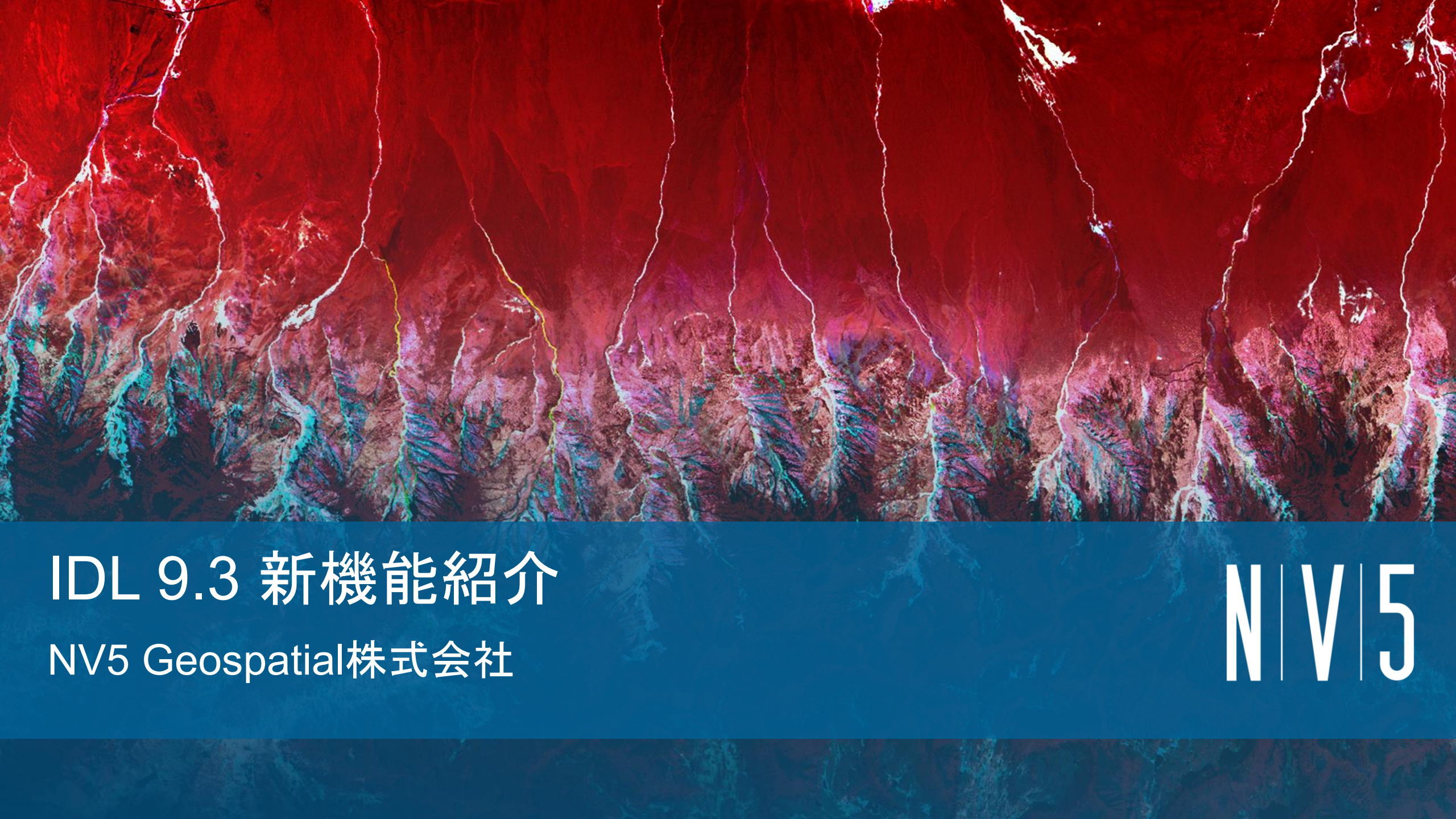




IDL 9.3 新機能紹介

NV5 Geospatial株式会社

N|V|5

新機能一覧

配列の最大次元数を64次元へ拡張

任意精度の浮動小数点数を扱う新しいBigFloatクラスを追加

CONGRIDの機能強化

DIALOG_CALENDARによるカレンダー選択UIの追加

GLTF/GLBおよびCesium 3D Tiles形式への出力に対応

配列の最大次元数を64次元へ拡張

- サポートする配列の次元数が、従来の最大8次元から最大64次元へ拡張されました
- DIMENSION 引数やキーワードを持つ各種ルーチンについても、64次元配列を扱えるようになりました
- 対象となるルーチンには、LINDGEN、FINDGEN、MAKE_ARRAY、TOTAL、MIN、MAX、SIZE などが含まれます

任意精度の浮動小数点数を扱う新しいBigFloatクラスを追加

- 仮数部をBigInteger、指数部をlong整数として保持し、既定で30桁、最大1,000桁の精度をサポートします
- 通常の数値や文字列から生成できるほか、Infinity、Negative Infinity、NaNなどの特殊値も扱えます
- BigFloat、BigInteger、通常の数値を組み合わせた数式評価に対応し、三角関数、指数関数、対数関数、平方根などの演算メソッドを利用できます

CONGRIDの機能強化

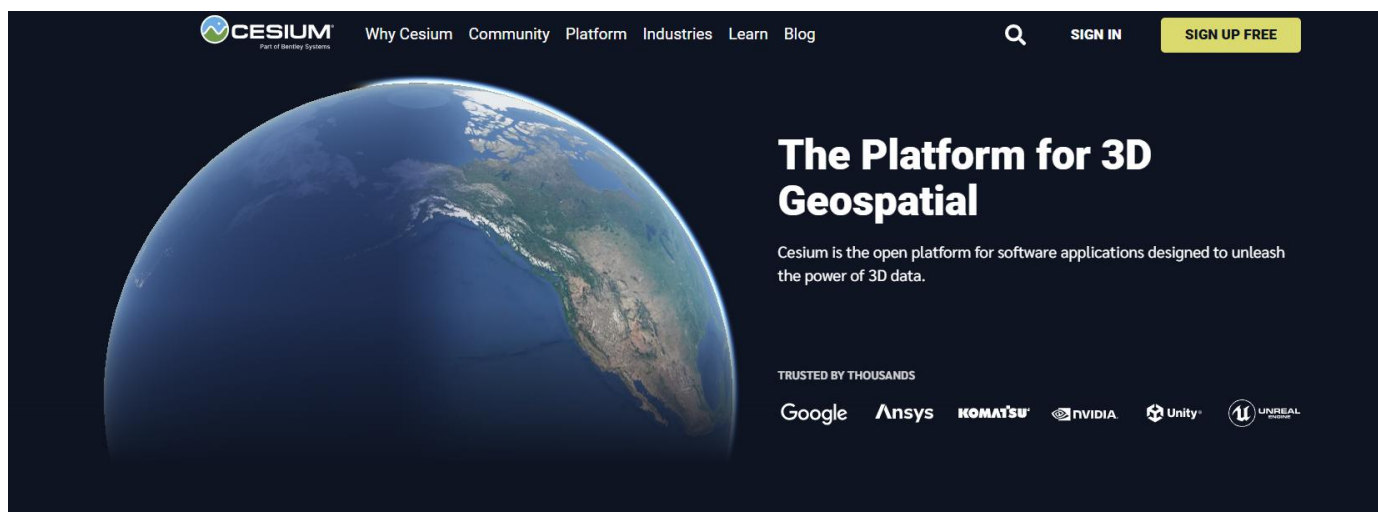
- ❑ 画像や配列の拡大・縮小を行う CONGRID に、Lanczos sinc平滑化を適用する LANCZOS キーワードが追加されました
- ❑ 配列や画像を縮小する際に、より高品質なリサンプリング結果を得られるようになりました
- ❑ RGB キーワードの追加により、3バンドまたは4バンドのカラー画像を自動判別し、各チャンネルに対して適切な平滑化処理を実行できます

DIALOG_CALENDARによるカレンダー選択UIの追加

- ❑ 日付をカレンダーから選択できるスタンドアロンのダイアログを利用できるようになりました
- ❑ 単一日付、日付と時刻の組み合わせ、複数の日付、および日付範囲の選択に対応しています
- ❑ ダイアログの外観や操作方法を制御するための豊富なキーワードが提供され、用途に応じた設定が行えます

GLTF/GLBおよびCesium 3D Tiles形式への出力に対応

- ❑ IDLのオブジェクトグラフィックス階層を、3Dモデル・3Dシーンの標準フォーマットであるGLTF形式で出力できるようになりました
- ❑ JSONベースの .gltf 形式と、バイナリ形式の .glb の両方に対応しています
- ❑ 必要に応じて、Cesiumプラットフォームで利用可能な3D Tiles形式も併せて出力できます
- ❑ SurfaceなどのFunction Graphicsオブジェクトも、Save メソッドを利用してGLTF形式で保存できるようになりました



<https://cesium.com/>

NV5 Geospatial株式会社
技術サポート
support_jp@nv5.com